

特定非営利活動（NPO）法人
緩和ケア支援センターコミュニティ



はなだより

16



CONTENTS

本部だより

事業所だより

ワンポイントアドバイス

2023
December

特定非営利活動法人 緩和ケア支援センターコミュニティ

一緒に暮らしてきた家だから
思い出いっぱいの町だから
みんながいる場所だから
ずっとここで生きていきたい

私たちはそんな気持ちを支えます
お一人お一人の生活を大切にします
地域の方の健康や福祉の増進に寄与します
地域のコミュニティ作りのお手伝いをします

法人理念

一隅を照らす

天台宗の開祖、最澄の言葉です。「一人ひとりが自分のいる場所で、自らが光となり周りを照らしていくことこそ、私たちの本来の役目であり、それが積み重なることで世の中がつくられる」という意味だそうです。「今いる場所で希望の灯をともし」この言葉をアフガニスタンの人々のために長期にわたり活動された中村哲さんも座右の銘にしていました。最澄はこれを実践できる人は、国宝（人材）なりと人を育てる教育に力を注いだそうです。

21世紀になって、地球は一つ、人類みな同じ、このような言葉が空しく感じる世の中になってきたように思います。一部の権利欲の強いリーダーによって無慈悲に奪われていく命に心を痛めている方も多いのではないのでしょうか。

当法人は平成18年に訪問看護ステーションはな、小規模多機能型居宅介護三丁目の花やなど地域に密着した事業所を開設して今年で17年余りとなりましたが、この度、法人の運営状況の改善を計るために組織の見直しを行ないました。

医療ニーズのある方にも対応できるようにと開設した「デイサービスこの花」を令和5年7月31日に閉鎖し、「三丁目の花や訪問看護ステーション」は、8月1日より、当法人の「訪問看護ステーションはな」に統合いたしました。「デイサービスこの花」はご利用者、ご家族、ケアマネジャーさんから惜しまれながらの閉鎖でしたが、職員一同、今までに頂いた皆様からの温かいお気持ちや学びに深く感謝し、これからの仕事に活かしていきたいと思っています。

職員の移動や退職等でしばらくは落ち着かない毎日でしたが、初心に戻り、法人の掲げる理念に沿って、また、職員一人ひとりが「一隅を照らす」存在になれるように新たな気持ちで頑張っております。

これからもどうぞご協力、ご支援賜りますように宜しくお願い申し上げます。

理事長 平野頼子

2023 年 法人活動紹介

◆ 地域活動 ◆

「ひまわりさんさん広場」誰でも参加でき、みんなで作る地域の交流の場。暮らしに役立つ健康講座、ひまわりランチ（こども食堂）、さんさんマルシェなど。

奇数月の最終日曜 11 時～13 時半に開催。



◆ 秋の夕べのコンサート ◆

野外で「山の音楽家シャナ」さんのオカリナとギターの演奏（10 月）



※今年は雨で屋内で開催



◆ 災害支援 ◆

久留米市の土砂災害支援に看護師ボランティアとして参加（8～9 月）



◆ 在宅医療や福祉・介護に関する活動 ◆

看護大学や、社会福祉士、介護福祉士専門学校からの学生実習受け入れ

ACP や認知症に関わる研修等の支援など

◆ 福岡県委託事業 ◆

「在宅ホスピスネットワークの構築及び在宅ホスピス啓発事業」の事務局として企画運営。

「西区在宅ホスピスボランティア養成講座」を開催（9～10 月）



居宅介護支援事業

ケアプランセンターはな

年の瀬を迎え慌ただしい時期となりました。体調はいかがでしょう？
風邪のウィルスは、冬の乾燥した状態の中で活発に活動します。
加湿器を使って湿度を 50%以上を保つこと、
こまめな水分補給を心がけることで、
のどや鼻の粘膜を潤して、ウィルスの侵入を防ぐ事ができます。
また水分補給は、脳卒中や心筋梗塞の予防にもつながります。

寒い冬には、カフェインの少ないホット麦茶、ほうじ茶、葛湯などがおすすめです。暖かい飲み物で、ほっと一息つきませんか？
寒さの本番はこれから。

「あと二杯多めに飲む」を心がけて、元気に新しい年を迎えましょう！



葛湯で
身体ポカポカ



訪問看護事業

訪問看護ステーション はな



この度、訪問看護ステーションはな と 三丁目の花や訪問看護ステーションが統合し、新たなスタートを切りました。どうぞよろしくお願いいたします。



Nurse

訪問スタッフ紹介



江崎

岸川

川上

金城

宮本

管理者
田中

副管理者
山川

甲斐

管理者挨拶

8月より管理者になりました。田中秀子です。これからも今迄同様「丁寧なケア」を続けていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

副管理者挨拶

新しい体制になり、心機一転！新たな気持ちで頑張ります(*^^*)。よろしくお願いいたします。



梶山

寺戸

Therapist



医療

ご本人、ご家族の気持ちを尊重し、可能な限り自宅において自立した生活が営めるように、安心して療養できるように、看護師・リハビリスタッフがお手伝いいたします。

地域

地域の皆さんの健康づくりのお手伝いをいたします。



安心

在宅緩和ケア
在宅での看取りをお手伝いいたします。
障害のある方、小児の訪問も行っています。

連携

かかりつけ医や様々な介護サービス事業所と協力しながら在宅ケアをいたします。

24 時間いつでもご連絡頂けます



在宅で行う「訪問リハビリテーション」とは？



国家資格を有したリハビリ専門スタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）がご自宅にお伺いし、実際の生活の場で普段の日常生活に即したアプローチを行うことで、安心、安全にその人らしい在宅生活が継続できるように支援していきます。機能回復訓練だけでなく、日常生活で出来る事を増やし、人との繋がりや社会参加、生きがいや役割をもって生活できるよう支援し、生活を豊かにすることも目的としています。

機能訓練場面



関節の動き
を良くする
運動中

訪問看護ステーションはな
には理学療法士、作業療法士
の2名が在席しています

住み慣れたご自宅で
その人らしい生活を送って
いただくための支援を行います



大好物の
お芋スイーツ
作り

調理場面

身体機能訓練

筋力や関節の動きを維持できるように運動を行い、身体機能の維持・改善を図ります。

生活動作の練習

身の回り動作の練習を行い、生活動作を行い易くします。歩く練習や段差の上り下り、家事動作等も行います。

住環境の調整

安心して生活を送るための住宅改修(手すり設置等)や福祉用具(歩行器や自助具等)の提案を行います。

アドバイス

ご本人やご家族の負担が軽くなり、不安なく生活が送れるように、介助方法の指導や生活指導を行います。

活動・参加への働きかけ

愛する妻に
看護師さんに
感謝！！



ご利用者様の紹介

いつも「待ってたよ！」と迎えてくださるIさん。お話好きで、楽しく訪問させて頂いています。いつも笑顔で寄り添っていらっしゃる奥様と、そんな奥様に感謝の言葉を欠かさないIさん。

とても素敵なお夫婦です





看護小規模多機能型居宅介護 三丁目の花や

ここ数年のコロナ禍が明けて、少しずつですが、外出やボランティアの方の来訪、地域の方と一緒にイベントを行うことも出来るようになってきました。これからも、三丁目の花やでは様々な取り組みを行いたいと思います

紫陽花・コスモス見学
花に負けない
素敵な笑顔



個別の起立・歩行訓練を行っています。言語聴覚士と嚥下訓練を行い、口から食べられるようになりました。
毎日皆さんで、体操やレクリエーションを楽しみながら身体を動かしています。



月二回の
音楽療法



利用者さん
のご家族様が
演奏にいらっ
しゃいました



敬老の
お祝い

ハロウィン
子どもたちと
一緒に！



NEW スタッフ紹介

厨房スタッフ



増崎 藤井 中村 木立 合屋

皆さんから“美味しい！”と喜んで頂ける様に頑張っています。

季節や敬老会などの行事に合わせて、毎月のお楽しみメニューとして「ネギトロ丼」「ちらし寿司」「鯛の炊き込みごはん」「お花見弁当」など献立を考えて作っています。

おやつも、皆さんの好みやリクエストを参考に手作りしています！！



介護スタッフ

皆さんが楽しく安全に過ごせる様に頑張っています。

周りが明るくなるよう精一杯頑張ります。

楽しい花やになるように頑張ります。

利用者様が花やに来てよかったと思えるよう頑張ります。



関 夏田 中上 古賀

看護スタッフ

これからも花やを一段と盛り上げていきつつ安全に過ごしていける環境をつくっていきますのでよろしくお願いします。

皆さんの笑顔に癒されていますので、私も負けずに皆様を笑顔する努力をしています！

看護師からワンポイントアドバイス!!



簗原 池田 深川 篠田

皆さんの元気に負けないように頑張ります!!

フットケアを学んでいるので、爪切りには自信があります。爪切りに困ったときは相談してください。

冬場に激増 ヒートショック

ヒートショックとは、急激な気温差によって血圧が変動し、心筋梗塞や脳梗塞、めまいといった健康被害を起こす現象です。

冬場の家庭では、気温の低いトイレや浴室、脱衣所でヒートショックのリスクが高まります。暖かい部屋から脱衣所へ移動し、服を脱いだ時に体が震えたことはないでしょうか。この気温差こそが、ヒートショックを引き起こす原因。寒さを感じた体は、熱を逃さぬよう血管を縮ませ、皮膚の下に流れる血液量を調整します。結果的に血液が流れにくくなり、血圧は急上昇するのです。その後、温かい湯につかると血管は拡張し、今度は血圧が急降下します。このような血圧の大幅な変動は、排便によって血圧が上下する冬場のトイレでもみられる現象です。血圧の急激な上昇は心筋梗塞や脳梗塞、低下はめまいや失神の原因となります。高齢者をヒートショックのリスクから守るためには、居室による温度差をなるべく少なくすることが大切。空気が冷え込む朝方のトイレや夜の脱衣所などは、特に気を付けてください。

法人会員募集・寄付金のお願い

正会員 年会費 3,000 円
賛助会員 年会費 3,000 円
寄付金 1 口 3,000 円

振込先 ゆうちょ銀行
口座番号 01710-3-140222
口座名 特定非営利活動法人
緩和ケア支援センターコミュニティ

皆様の温かいご支援お待ちしております

※入会金不要

○本部 特定非営利活動(NPO)法人 緩和ケア支援センターコミュニティ

TEL 092-834-6741 FAX 092-894-5580

E-mail info@kanwa-care.jp

URL http://www.kanwa-care.jp



○訪問看護事業

訪問看護ステーション はな

TEL 092-834-6538

FAX 092-894-5580

○居宅介護支援事業

ケアプランセンター はな

TEL 092-834-6548

FAX 092-894-5580

〒819-0052

福岡市西区下山門2丁目9番6号



○看護小規模多機能型居宅介護 三丁目の花や

TEL 092-805-8313

FAX 092-805-8312

〒819-0161

福岡市西区今宿東2丁目2番10号